

Boomi、企業のERP戦略に関するグローバル調査レポートを発表

パンデミックがクラウドへの移行を加速する中、企業は Composable ERP 戦略を優先し、レガシーアプリケーションの刷新を通じて、俊敏性と成長を実現していることを指摘

クラウド型インテグレーションプラットフォーム、iPaaS のリーダーである [Boomi™](#)社（本社：米国ペンシルベニア州、日本オフィス：東京都港区、以下 Boomi）は、1,675 人の CTO とエンタープライズアーキテクトを対象とした独立調査（Coleman Parks 社実施）の分析結果を発表しました。本調査は、世界の 94%（10 社中 9 社）の企業が **Composable Enterprise Resource Planning (ERP)** 戦略を採用して、レガシーアプリケーションの限界を克服すると共に、ビジネスを刷新して市場における競争優位性を獲得しようとしていることを明らかにしています。

調査結果によると、企業は、あらゆる組織のバックボーンであるレガシーERP システムでは、今日のビジネスのスピードに対応することが困難になっていることを痛感しています。これは、業界で最新のトレンドである「**Composable ERP**」への傾向が加速していることを意味しています。企業は、**Composable ERP** 戦略を採用することで、レガシーアプリケーションと最新アプリケーション間のギャップを解消する柔軟なプラットフォームを利用することができます。

Composable ERP が優れた柔軟性を提供する一方で、すべてのアプリケーションを統合（インテグレーション）して共同作業を行い、アプリケーション間でデータの共有を可能にすることは、企業にとって大きな課題となっています。従来の統合ソリューションは高価で時間のかかるカスタム開発コーディングが必要なため、最適化と自動化は今日の IT 部門にとって最優先事項となっています。これは、調査回答者の **76%** がアプリケーションの標準化と統合に投資していることや、**72%** がアプリケーションの刷新とクラウドへの移行に取り組んでいることが証明しています。

Boomi の CEO である **Chris McNabb** は次のように述べています。

「一般的な企業では、平均で **850** のアプリケーションが運用され、そのうち **30%** しか接続されていないのが現状です。今日すべての企業が直面している最大の課題は、ますます細分化されつつあるデジタルエコシステムを一元化し、顧客、従業員、パートナーが現在期待している統合されたエクスペリエンスを構築できるようにすることでしょう。高速でインテリジェントなデータ検出とカタログ化、広範なコネクティビティ、プロセスの統合、ヒューマンワークフローの自動化によってこの課題を解決できる企業は、パンデミック後のさらなる成長が期待できます」

大手アナリスト企業の **Gartner** 社は、統合に注力することの重要性について見解を示しています。「ERP ベンダーは、統合機能の改善に対する顧客の要求を満たすために、インテグレーションプラットフォームを提供、またはインテグレーションパートナーと提携する必要があります」と解説しています*⁽¹⁾。「それは、ERP の顧客が、アプリケーションとデータを統合して、企業のビジネス機能を構築できるようにするためです。お客様は、複数のベンダー、クラウド、ならびにサービスを利用して機能を構成します」

Boomi の調査結果では、企業は **Composable ERP** の大きな可能性を認識しているが、統合戦略の展開に苦労していることが示唆されています。また、調査回答者の **51%** が、「可能な限り最高のユーザーエクスペリエンスを提供することが、統合テクノロジーを採用する動機である」と述べています。それでも **47%** は、「現在利用する統合ソリューションを活用して、課題に対応することに苦慮している」と回答しています。**42%** は、「これらのソリューションの維持には高いコストがかかる」と回答し、**38%** は、「複雑なハイブリッドテクノロジー環境に対応できない」と回答しています。

その他の主要な調査結果は次のとおりです。

- **97%** の回答者は、「必要に応じてアプリケーションとデータを統合する柔軟性を得るために、ハイブリッドインテグレーションプラットフォーム (HIP) モデルを IT 戦略として採用している」と述べています。
- ERP スイートをクラウドに移行することで得られる最大のメリットとして、ビジネス効率の向上 (**33%**)、IT の俊敏性の向上 (**32%**)、ビジネスの成長の促進 (**30%**) を、合わせて **95%** の企業が挙げています。
- 企業は現在、ERP スイートをクラウドに移行することに取り組んでおり、**58%** が、ERP が **2022** 年までにオンプレミス環境のみで運用するシステムではなくなると予測しています。
- 回答者の大半は、IT 環境の刷新を妨げるいくつかの障害として、予算の制約 (**38%**)、複雑なハイブリッド IT 環境 (**37%**)、およびレガシーテクノロジーに起因するプロセスの障害 (**35%**) を挙げています。

Chris McNabb は、次のようにコメントしています

「信じられないほどの変化に対応した **1** 年が経過した後、企業は IT 環境の刷新が生き残るために重要であると考えています。企業が **Composable ERP** の取り組みを強化する中、オープンな **iPaaS** プラットフォームが、その取り組みを成功へと導くために必要なテクノロジーとなります」

*⁽¹⁾ 出典：Gartner 社「Predicts 2021：Time to Compose ERP Strategy to Outpace Disruption」、2020 年 12 月 4 日、執筆：Denis Torii、Dixie John、Duy Nguyen、Tim Faith、Paul Schenck

- [eBook](#) ダウンロード： “The Innovators Shift to Composable ERP”
- インフォグラフィック： “The Innovators Shift to Composable ERP”
[Infographic](#)
- Gartner 社レポートダウンロード： “[The Future of ERP is Composable](#)”
- [Boomiverse Community](#)

Boomi について

Boomi は、クラウドネイティブ、スケーラブル、オープンかつ安全なインテグレーションプラットフォームで、人々が求めているものに瞬時に繋がります。Boomi の integration Platform as a Service (iPaaS) は、そのスピード、使いやすさ、および総所有コスト (TCO) 削減の効果によって、世界中の 15,000 以上の顧客に導入されています。Boomi のビジョンは、データのインテリジェントな使用を促進するパイオニアとして、お客様やパートナーがデータを迅速かつ容易に検出、管理、統合できるようにするとともに、アプリケーション、プロセス、人を繋ぎ、より優れた迅速な成果を上げる支援を行うことです。詳細については、<http://www.boomi.com/ja> をご覧ください。

Boomi をフォロー：[Twitter](#), [LinkedIn](#), [YouTube](#)

©2021 Boomi Inc. Dell, Dell Technologies, Boomi, 「B」ロゴ、Atom、Boomiverse、AtomSphere、Molecule、および Dell Boomi は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。全著作権所有。その他の名前またはマークは、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

お問い合わせ先：

担当：荒川

Boomi Japan

e-mail: boomi@jspin.co.jp